

令和4年度 第1回 静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会
会議録

- 1 日 時 令和4年6月21日(火) 午後2時00分から午後3時15分まで
- 2 場 所 レイアップビル御幸町 5D会議室
- 3 出席者 (委員) 木宮会長、池田副会長、石川委員、内海委員、
風岡委員、桂田委員、菅委員、黒瀬委員、佐潟委員、
佐藤委員、竹上委員、牧田委員、山室委員

(事務局) 松浦企画局長、鈴木企画課長、久野井課長補佐
乗松副主幹、渡邊主査
- 4 傍聴者 7人
- 5 議 題 (1)今年度の検討の進め方について
(2)IAI スタジアム日本平の現状と課題について
(3)市民・利用者アンケート(案)について
- 6 会議内容
- (1)開 会
【事務局(鈴木課長)】
・開会
・高田委員はご欠席のご連絡を頂いている。また、黒瀬委員にはリモートで参加
いただいている。
- (2) 挨拶

・事務局(松浦企画局長)挨拶
- (3) 委員自己紹介

・出席した全委員から自己紹介、事務局紹介、受託者紹介
- (4) 委嘱状の送付

・卓上に配布、欠席者及び黒瀬委員については後日送付する。

(5) 会長の選出

【事務局（鈴木課長）】

- ・委員の方から推薦があればお願いしたい。

【石川委員】

- ・スポーツ推進審議会の会長でもある木宮委員を推薦する。

【事務局（鈴木課長）】

- ・ご推薦があったが、木宮委員でよろしいか。

【委員】

- ・（異議なし）

【事務局（鈴木課長）】

- ・それでは木宮委員を会長に任命する。静岡市附属機関設置条例に基づき、会長に副会長の指名をお願いする。

【木宮会長】

- ・池田委員、お願いします。

【池田委員】

- ・承った。

(6) 議 題

【事務局（久野井補佐）】

- ・今年度の検討委員会の進め方について説明（資料1）
- ・現 I A I スタジアム日本平の経緯や現状、スタジアム基準を満たしていない屋根カバー率などについて説明（資料2）
- ・市民、利用者アンケート（案）について説明（資料3）
- ・参考資料（国内のスタジアム事例の整備・管理運営スキーム、他のスタジアム整備事例）について説明

【木宮会長】

- ・委員の皆様からご意見を頂きながら丁寧に進めて頂ければと思う。忌憚のない意見を出して頂き、活発に議論をしてもらいたい。

(6)-1 今年度の進め方について

【桂田委員】

- ・今年度の進め方を見ると、候補地が提案される前にアンケートや評価項目の検討の議論が進むため、抽象的な議論になりかねない。
- ・先に候補地が決まっていた方が具体的な評価項目の検討ができるのではないかと考える。また、候補地の所有者によっては事業手法が制限されるケースもあることから、候補地が先に決まっていた方がいいのではないかと考える。

【事務局（久野井課長補佐）】

- ・基本的には同時並行で進めたいと考えている。
- ・第3回検討委員会で桂田委員のご指摘された部分が議題となるため、第1回、2回検討委員会ではご意見を幅広く頂く。

【桂田委員】

- ・1回目、2回目に委員から頂いた意見を踏まえて、候補地を事務局で提案頂けるのであれば良い。

【事務局（久野井課長補佐）】

- ・少し丁寧に進める印象かもしれないが、第3回目に候補地をとりあげたい。

【桂田委員】

- ・全国の検討会を見ていると、候補地が出てきてから本格的に議論が始まるので、時間を浪費しないという視点から提案した。

【木宮会長】

- ・他のスタジアムの整備事例をみると、多様なスケジュールが記載されているが、静岡市の場合は現在スケジュール上ではどの段階にあるのか。

【事務局（久野井課長補佐）】

- ・色々な進め方やスケジュールはあると思うが、検討委員会を発足し議論をし始めた段階なので、一年目にあたる。

【木宮会長】

- ・多くの市民の関心はいつできるのかである一方で、市としては着実に検討を進める段階と考える。今年度の目的は年度内に有力な候補地を決定することである。アンケートや評価項目の進め方については事務局で再度検討頂きたい。

【竹上委員】

- ・公民連携協議会のシンポジウムに参加しているが、協議会ではエネオス社が保有する遊休地を使うことが前提で話が進んでいると考えていた。エネオス社の

土地を使う前提から白紙なのか、公民連携協議会との位置づけがどうなっているのか教えて頂きたい。

【事務局（久野井課長補佐）】

- ・公民連携協議会ではスタジアムの話も上がっているが、決まっているものではない。スタジアムはこの検討委員会で議論する。

【黒瀬委員】

- ・評価のためには整備時期がいつになるのか、何年先に建設予定なのかを定める必要があると考える。残された時間によって整備可能な事業手法が変わってくるであろうし、評価も変わってくる。
- ・時間があれば可能という課題もあるし、そうでないものもある。

【事務局（久野井課長補佐）】

- ・候補地によって準備期間も異なると考えられるため、現時点ではスケジュールありきでは考えていない。今年度は候補地を先に決めていきたい。

【佐藤委員】

- ・静岡市はサッカーが盛んな地域であり、静岡にあるべきスタジアムの議論ができればよい。例えば、車でしかアクセスできない郊外では経済効果を生み出さないが、公共交通であれば地域への経済効果が大きくなる。どのような場所を立地にすべきか、という要求水準はいつ議論するのか。

【事務局（久野井課長補佐）】

- ・第2回検討委員会に議論頂き、第3回検討委員会でご提示できればと考える。

(6)-2 IAIスタジアム日本平の現状と課題について

【佐瀨委員】

- ・IAIスタジアム日本平には毎週通っているが、雨の日の逃げ場のなさが大きな課題だと感じている。現在の立地も慣れており、愛着もあるが、より良い立地があれば移転してもいいと考えている。またファンの高齢化に伴い、IAIスタジアムのアプローチが坂道であることや、自家用車がない方はバスでしか行けないこと、また駐車場台数も少ないこともあり、今の立地は健康な方は行くことが可能だが、高齢層は行きにくさを感じている。そういったことも含めて議論していきたい。

【木宮会長】

- ・屋根は必須になるだろう。また交通の便の良さが重要であるとのことご意見をいただいた。

【竹上委員】

- ・今回スタジアムを作るにあたって、どの程度の興行回数で費用を回収できるか検討する必要がある。スタジアムのみで費用を回収できないのであれば、周辺施設と連携してコンスタントに稼ぐ仕組みが必要である。整備することは良いが、将来への負担にならないようにしなければならない。

【木宮会長】

- ・周辺のまちづくりも含めて、収益性とスタジアムの利用を検討していきたい。

【牧田委員】

- ・屋根のカバー率の不足はJリーグの規定に基づくものであるが、AFCやFIFAといった基準ではどうか。カバー率が不足しているという課題だけで良いのか。

【事務局（久野井課長補佐）】

- ・第2回検討委員会でそういったご意見もいただき議論できればと考える。

【佐藤委員】

- ・現スタジアムの屋根のカバー率が26%であり、J1、J2、J3の全国58施設のスタジアムの中で30番目である。今は1/3のカバー率としているが、Jリーグは、将来すべての観客席をカバーする屋根を義務化すると打ち出している。現スタジアムはクラブライセンス上の制裁を受けながらもなんとかJ1の基準をクリアしている状況にある。

【山室委員】

- ・後援会の構成は50歳以上の方が半分以上である。屋根のカバー率とともに、バリアフリーも不十分であるため、高齢化社会を考えると厳しい状況である。サッカースタジアムを活かしたまちづくりで考えると、Jリーグが考える立地条件として、中心市街地に近いことが第一条件で、公共交通機関の充実も欠かせない条件である。現状は駐車場が少ない上に渋滞が発生している。

【石川委員】

- ・中心市街地活性化に向けて、商店街に人が流れるようなスタジアムを活用した仕組みを作り、地域社会一体となった形を目指して頂きたい。

【内海委員】

- ・まちづくりの観点ではスタジアムがにぎわいの創出拠点になることが重要である。将来的にコンパクトシティになっていくという観点から考えると、中心市街地に整備され、試合がない日でも人が集まる拠点になることが求められる。

(6)-3 市民・利用者アンケート（案）について

【菅委員】

- ・観戦回数だけでなく、観戦の前後の行動も把握できるようにした方が良い。例えば、ホームアウェー別の来場手段やスタジアム内外での消費額が挙げられる。また、回遊性についても聞けると良い。通信事業者に協力いただき、位置情報のデータが得られれば、I A Iスタジアムでイベントのない日の人々の行動も分析できる。

【事務局（久野井課長補佐）】

- ・アンケートに関するご意見については事務局より委員にご提示できればと考える。

【桂田委員】

- ・今のアンケートは観戦者のニーズを聞くものになっている。候補地の検討に活用するアンケートであれば、市民はどのようなスタジアムであれば新しく作るべきと考えているか等を問うた方が良く考える。
- ・清水エスパルスの収益性向上に貢献できる、子供たちに長く使ってもらえるスタジアムであれば行きたいなどを聞けると良い。また、財政支出をしてもいいスタジアムは何かなども聞けると良い。

【木宮会長】

- ・頂いたご意見も踏まえてアンケートの内容を検討して頂きたい。

【事務局（久野井課長補佐）】

- ・現I A Iスタジアムに対する意見や現利用者の考えているところを把握したいと考えている。アンケートのタイミングは集計作業や分析作業を考えると7月～8月には実施したい。その際、桂田委員や菅委員のご意見を踏まえたいと考える。

【菅委員】

- ・市民からどのようなスタジアムがいいかを聞き出すのはアンケートだけでは難しい。ワークショップやサポーターミーティングを開いて自由に意見を拾い上げ、定性的に把握できれば良い。
すぐ実施することは難しいと思われるが、どこかのタイミングでワークショップやサポーターミーティングを実施できれば、自体が市民の機運醸成にもつながる。

【事務局（久野井課長補佐）】

- ・具体的なイメージがあったほうが良いと考えるので、いつどのような内容が良いかはご相談させて頂きたい。

【木宮会長】

- ・全体を通してとなるが、池田委員から防災の観点から意見をいただきたい。

【池田委員】

- ・もう少し先に議論する内容だが、スタジアムの安全性だけではなく、そこに至るまでの動線も安全でなければならないなど、場所によって求められるのが変わるので、幅広く考えなければならない。

【風岡委員】

- ・以前、市民への街頭インタビューで、近ければ行ってみたいという意見がテレビで流れていた。
- ・新規の若年層のファンを取り込むには立地が影響すると思うので、この委員会で検討できたら良い。エスパルスで実施したアンケートを参考にしても良いのではないかと。

【竹上委員】

- ・東京近郊にもエスパルスファンはいる。静岡市内だけではなく、他の地域のファンも含めてアンケートを実施することで、スタジアムに求めるものを考えられると良い。

【事務局（久野井課長補佐）】

- ・今のご意見も検討していきたい。

(7) その他

【事務局（鈴木課長）】

- ・第二回検討委員会については8月2日に実施予定である。詳細な時間は追ってご連絡する。第三回検討委員会については調整中である。
- ・また、静岡県から本検討委員会のオブザーバー参加の申し出があり、しかるべきタイミングで本検討委員会に参加するため、ご了承いただきたい。

(8) 閉 会

事務局（松浦局長）閉会

以上

(署名) 会長 木宮 敬信

